小原　地域カルテ

2019 年　　12 月版

小原 地域会議・ 小原 支所

この地域について簡単にまとめると

■「これまで15年」と「これから15年」の人口推移

①人口	おおむね これまでの 15年間で (2000年→2015年)	0.9 倍に減少	→	おおむね これからの 15年間で (2015年→2030年	0.8 倍に減少
②子ども		0.6 倍に減少			0.7 倍に減少
③若い世代（生産年齢）		0.8 倍に減少			0.7 倍に減少
④高齢者		1.1 倍に増加			0.9 倍に減少
⑤後期高齢者		1.3 倍に増加			1.0 倍で変化なし
⑥前期高齢者		0.9 倍に減少			0.9 倍に減少
⑦85歳以上		**2.2 倍に増加**			0.8 倍に減少
⑧③と⑥の負担		**2.8 倍に増加**			1.1 倍に増加

		2000年		2015年		2030年
⑦85歳以上	100人に	3 人	→	8 人	→	8 人
⑨世帯あたり人口	1世帯に	3.50 人		2.79 人		2.53 人
⑩18歳未満同居世帯	100軒に	33 軒		19 軒		15 軒
⑪高齢者のみ世帯		23 軒		28 軒		33 軒
⑫三世代同居世帯		33 軒		18 軒		12 軒

■その他地域カルテから言える特徴的な点

全43の集落のうち、30の集落	が	全市平均と比較して高齢化率が高く、18歳未満同居率が低くなっており、健康づくり・くらしを支える活動が重要な地域となっている。
自治区・地域活動への参加意欲		全市平均より23.6pt高く、過去3年間では21.6pt上昇しており、住民主体による様々な活動が行われている地域である。
地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着意識		全市平均より26.7pt高く、過去３年間では5.4pt上昇しており、住民の「WE LOVE おばら」意識が強い地域である。

目　次

この地域について簡単にまとめると	・・・・・・・・・・・・・	1
概　要	・・・・・・・・・・・・・	3
人口推移等	・・・・・・・・・・・・・	4
健康福祉	・・・・・・・・・・・・・	8
安全安心（防犯・交通安全・防災）	・・・・・・・・・・・・・	8
地域住民のまちに対する意識	・・・・・・・・・・・・・	9
地域住民のまちづくりへの参加	・・・・・・・・・・・・・	10
地域自治システムの運用状況	・・・・・・・・・・・・・	13

地域カルテとは

・地域の特徴を中学校区ごとにまとめたもので、地域住民（地域会議）と事務局（各支所）が共働で作成し、毎年度更新を行っています。

・このカルテでは、地域が

「①今どういった状況（概況）なのか」

「②将来どのようになるのか（※人口についてのみ）」

「③地域の自治（自分たちでまちづくりを行うこと）に対する意識」

を把握することができますので、地域課題の発見にぜひご活用ください。

概　要

小原地区は中央部が標高約300mであることに対し、北部では500m以上、南端では約100mと高低差のある地形である。市街地まで車で30分～１時間程度の距離であり、自動車関連企業に勤める人も多く住んでいる。自然豊かな里山の暮らしと周辺都市部へのアクセスの便利さをあわせ持つのが小原の特徴である。しかし、近年は年をおうごとに人口が減少しており、高齢化率は35%を超えている。

また、町内会単位の結びつきの強い地域であることも特徴である。

（平成３１年４月１日現在）

面積		74.68 km^2	（市比　8.1%　）	［市　918.32 km2］
人口密度		48 人/km^2	（市比　10.4%　）	［市　463 人/km^2］
人口		3,595 人	（市比　0.8%　）	［市　425,340 人］
	男性	1,762 人	（市比　0.8%　）	［市　222,461 人］
	女性	1,833 人	（市比　0.9%　）	［市　202,879 人］
うち外国人人口		57 人	（市比　0.3%　）	［市　17,735 人］
世帯数		1,504 世帯	（市比　0.8%　）	［市　181,418 世帯］
平均年齢		53.09 歳	（市比　10.0歳　）	［市　43.06 歳］

■都市基盤

主要道路

地区の中央部を縦貫する国道419号、主要地方道３路線と一般県道５路線がある。

公共交通

とよたおいでんバス（小原・豊田線）、おばら桜バス

公共施設

高校(0)、中学校(1)、小学校(3)、こども園等(3)、交番・駐在所(2)、消防署(0)

小原交流館、小原歌舞伎伝承館、緑の公園・小原トレーニングセンター(1)、北部生活改善センター、和紙のふるさと、川見四季桜の里、小原福祉センターふくしの里、寿楽荘

医療機関

病院(0)：
医科(2)：乙ケ林診療所、小原診療所
歯科(1)：可児歯科医院

■地域資源

観光資源

小原四季桜、小原和紙、小原歌舞伎

特産品

米（ミネアサヒ）、たまご、天然にがり豆腐、自然薯、きのこ、山ごぼう

イベント

小原四季桜まつり（11月）、和紙良いフェスタ（8月）、カンゾカシキ（1月）、小原歌舞伎五月公演（5月）、小原夏まつり（8月）

人 口 推 移 等

	1995年		2000年		2005年		2010年	
計	4,544		4,302		4,303		4,084	
男 女	2,209	2,335	2,100	2,202	2,108	2,195	1,972	2,112
2015年比	120	125	114	118	115	118	107	113
0-14歳	783		651		522		426	
男 女	416	367	341	310	271	251	226	200
15-64歳	2,575		2,393		2,419		2,333	
男 女	1,284	1,291	1,207	1,186	1,262	1,157	1,209	1,124
高齢者数	1,186		1,258		1,362		1,325	
率（人口比）	26.1%		29.2%		31.7%		32.4%	
後期高齢者数	463		579		788		826	
男 女	177	286	224	355	314	474	312	514
率（同）	10.2%		13.5%		18.3%		20.2%	
65-74歳	723		679		574		499	
男 女	332	391	328	351	261	313	225	274
率（同）	15.9%		15.8%		13.3%		12.2%	
85歳以上	114		141		203		274	
男 女	38	76	48	93	73	130	71	203
2015年比	38	37	48	45	73	63	71	98
率（同）	2.5%		3.3%		4.7%		6.7%	
総世帯数	1,236		1,230		1,248		1,265	
一般世帯数	1,236		1,230		1,238		1,242	
世帯当たり人数	3.68		3.50		3.26		3.06	
6歳未満同居	182		131		110		88	
18歳未満同居	471		403		339		279	
率（全世帯比）	38.1%		32.8%		27.4%		22.5%	
65歳以上単身	102		129		150		161	
65歳以上夫婦	133		158		166		146	
高齢者のみ世帯	235		287		316		307	
率（同）	19.0%		23.3%		25.5%		24.7%	
三世代同居	558		405		338		292	
三世代同居率	45.1%		32.9%		27.3%		23.5%	
75歳以上 要介護3以上							76	
75歳以上 要介護1-2							85	
75歳以上 要支援1-2							35	

◎２０１５年を「１００人の村」に換算すると･･･

		1995年	2005年	2015年	2025年（推計）	2035年（推計）
	総数	123	116	100	85	70
	0-14歳	21	14	10	8	6
	15-64歳	69	65	53	41	32
	65歳以上	32	37	37	36	32
地域活動のボリュームゾーン	65-74歳(A)	19	15	16	16	12
	75歳以上	12	21	21	20	20
何らかのお手伝いが必要な年齢層	85歳以上(B)	3	5	8	7	7
何人で１人のお手伝いをするか	（A）÷（B）	6	3	2	2	2

出典：国勢調査を基にコーホート変化率法を用いて推計

2015年		2020年（推計）		2025年（推計）		2030年（推計）		2035年（推計）	
3,709		3,416		3,135		2,874		2,612	
1,841	1,868	1,721	1,695	1,611	1,524	1,509	1,365	1,399	1,213
100	100	94	91	88	82	82	73	76	65
366		307		278		258		236	
191	175	172	135	178	100	179	78	176	60
1,983		1,746		1,653		1,343		1,202	
1,050	933	913	833	820	833	750	594	687	514
1,360		1,363		1,321		1,274		1,175	
36.7%		39.9%		42.1%		44.3%		45.0%	
768		710		739		753		731	
292	476	276	433	314	424	345	408	322	409
20.7%		20.8%		23.6%		26.2%		28.0%	
592		654		583		520		444	
308	284	360	294	299	284	236	285	214	230
16.0%		19.1%		18.6%		18.1%		17.0%	
308		303		263		236		269	
100	208	103	200	84	179	80	156	105	165
100	100	103	96	84	86	80	75	105	79
8.3%		8.9%		8.4%		8.2%		10.3%	
1,239		1,235		1,237		1,246		1,258	
1,233		1,181		1,120		1,045		961	
2.79		2.68		2.58		2.53		2.49	
85		78		75		74		73	
229		192		167		152		137	
18.6%		16.3%		14.9%		14.6%		14.3%	
184		193		194		190		178	
163		163		161		155		144	
347		356		354		346		322	
28.1%		30.1%		31.6%		33.1%		33.5%	
220		183		151		129		111	
17.8%		15.5%		13.5%		12.4%		11.6%	
77		64		66					
73		78		81					
44		58		60					

◎人口推計グラフ（上記表から作成）

■１８歳未満同居率／高齢者　　出典：最新年度国勢調査（小地域集計）　※市推計は地域支援課作成

A・・・子ども・子育て支援活動が重要な地域

B・・・健康づくり・くらしを支える活動が重要な地域

■住居

出典：最新年度国勢調査

一般世帯数	1,233	世帯（ 100.0% ）			
持ち家	1,133	世帯（ 91.9% ）	給与住宅	4	世帯（ 0.3% ）
公営等の借家	7	世帯（ 0.6% ）	間借り	14	世帯（ 1.1% ）
民営の借家	45	世帯（ 3.6% ）	住宅以外	30	世帯（ 2.4% ）

■学校区別データ

出典：住民基本台帳（各年4.1時点）、学校基本調査等（各年5.1時点）

小学校区別人口

中学校生徒数

小学校児童数（単位：人）

①道慈小学校区

②本城小学校区

③小原中部小学校区

健康福祉

■健康・福祉

出典：地域健康カルテ

	2017		2016	2015
介護保険認定者	310 人	[市 13,045 人]	339 人	324 人
	22.1 %	[市 14.0 %]	24 %	23.1 %

市国民健康保険特定健康検査（対象40～76歳）		2017		2016	2015
BMI（25以上）	男性	23.1 %	[市 26.4 %]	17.0 %	23.9 %
	女性	19.2 %	[市 20.6 %]	20.2 %	20.7 %
HbA1c ※糖尿病の検査項目（5.6%以上）	男性	72.1 %	[市 68.1 %]	71.3 %	67.3 %
	女性	75.8 %	[市 67.7 %]	78.1 %	69.7 %
LDLコレステロール（120mg/dl以上）	男性	51.0 %	[市 48.9 %]	37.2 %	41.6 %
	女性	54.2 %	[市 57.6 %]	54.4 %	55.9 %
収縮期血圧（130mmHg以上）	男性	48.1 %	[市 47.4 %]	43.6 %	42.5 %
	女性	37.5 %	[市 42.8 %]	41.2 %	40.7 %

問診	男性（2017年）		女性（2017年）	
喫煙者	20.2 %	[市 20.7 %]	2.5 %	[市 3.6 %]
20歳から１０kg以上の体重増加	39.4 %	[市 39.7 %]	23.3 %	[市 24.8 %]
運動習慣なし	59.6 %	[市 49.1 %]	73.3 %	[市 56.1 %]
身体活動なし	45.2 %	[市 44.5 %]	52.5 %	[市 46.9 %]
夕食後の間食	16.3 %	[市 13.4 %]	15.0 %	[市 16.5 %]
朝食欠食	0.0 %	[市 6.5 %]	4.2 %	[市 3.7 %]
飲酒習慣	72.1 %	[市 62.8 %]	27.5 %	[市 23.4 %]
生活習慣の改善意思なし	52.9 %	[市 44.7 %]	47.5 %	[市 42.6 %]

安全安心（防犯・交通安全・防災）

■防犯

出典：愛知県警察本部提供データ

身近な犯罪の認知件数				
2018	5 件（ワースト 23 位）	[市 917 件]		
	① 自転車盗 3 件	② 侵入盗 1 件	③ 車上ねらい 1 件	
2017	3 件（ワースト 27 位）	[市 1,166 件]		
	① 侵入盗 3 件	② 0 0 件	③ 0 0 件	
2016	6 件（ワースト 25 位）	[市 1,178 件]		
	① 侵入盗 4 件	② 車上ねらい 2 件	③ 0 0 件	

■交通安全

出典：愛知県警察本部提供データ

交通事故発生件数				
2018	6 件（ワースト 28 位）	[市 1,565 件]		
	人対車 0 件	車対車 5 件	その他 1 件	
2017	6 件（ワースト 27 位）	[市 1,866 件]		
	人対車 2 件	車対車 3 件	その他 1 件	
2016	11 件（ワースト 25 位）	[市 2,006 件]		
	人対車 1 件	車対車 6 件	その他 4 件	

■防災

出典：福祉総合相談課、防災対策課所有データ

避難行動要支援者名簿		
	対象者数 172 人	市 8,120 人
	（同意者数 145 人 同意率 84 %）	（6,305 人／ 77.6 %）

地震被害予測

※1 過去地震最大モデル（冬夕方発災）
※2 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある
※3「＊」は0.1%未満

震度面積率	7	0.0 %	[市 0.0 %]	建物被害	全壊・焼失	6 棟	[市 677 棟]
	6強	0.0 %	[市 ＊ %]		揺れ	0 棟	[市 502 棟]
	6弱	0.0 %	[市 23.2 %]		液状化	0 棟	[市 25 棟]
	5強	100.0 %	[市 76.8 %]		急傾斜地	6 棟	[市 108 棟]
	5弱以下	0.0 %	[市 0.0 %]		火災	0 棟	[市 41 棟]
人的被害	死者数	0 人	[市 27 人]	半壊		38 棟	[市 4,813 棟]
	重傷者数	0 人	[市 66 人]		揺れ	24 棟	[市 4,405 棟]
	軽症者数	4 人	[市 492 人]		液状化	0 棟	[市 155 棟]
避難者数（1週間後）		423 人	[市 47,345 人]		急傾斜地	14 棟	[市 253 棟]

地域住民のまちに対する意識

豊田市の住みよさ満足度

出展：市民意識調査

※選択肢「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計

今住んでいるところへの定住意識

出展：市民意識調査

※選択肢「今のところに住みたい」

市の施策満足度（地域の満足度が高い順）

出典：市民意識調査

満足度	第１位		第２位		第３位	
１８・１９及び２０歳代	食生活の安心	4.83	高齢者の暮らしの安全	4.67	障がい者の暮らしの安全	4.67
３０歳代	子					0
４０歳代	地					2
５０歳代	水 確					5
６０歳代	良					2
７０歳代以上	郷					5
地区内全年代	郷土の歴史・文化の継承	4.60	水辺環境等の水資源の確保	4.52	食生活の安心	4.48
（参考）全市	企業活動の活性化	5.32	医療提供体制の充実	4.93	消防・救急体制の充実	4.93

各年代については、サンプル数が少ないため、データ表示しません

※満足度を１～７の７段階で評価した平均値

地域課題（地域の課題認識が高い順）

出典：地域自治システム評価アンケート（地域支援課）

課題度	第１位		第２位		第３位	
２０歳代	交通安全対策の推進	71.4%	公共交通機関の充実	71.4%	豊かな自然環境の保全	71.4%
３０歳代	郷 の					9%
４０歳代	公					9%
５０歳代	観 進					3%
６０歳代	豊					9%
７０歳代以上	豊		機会の拡充			7%
地区内全年代	豊かな自然環境の保全	66.3%	鳥獣害対策の強化	62.0%	空き家や耕作放棄地の対策の強化	59.8%
（参考）全市	交通安全対策の充実	53.9%	医療の充実	47.2%	生活道路・交通をスムーズにすること	45.4%

各年代については、サンプル数が少ないため、データ表示しません

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

地域住民のまちづくりへの参加

■自治区やＮＰＯ等の活動状況

出典：地域支援課所有データ等

自治区位置図

自治区加入率

加入率	75.1	%	加入世帯数	1,129	世帯
［市	80.9	%］	住基世帯	1,504	世帯

自治区加入率推移

(単位：世帯、%)

自治区一覧

自治区名	世帯数	組数	回覧数
大平	175	6	21
道慈	86	15	16
小原西	106	8	12
上仁木	103	8	10
旭	75	7	9
高原	69	11	12
小原中	85	10	20
小原東	46	5	7
栄	68	8	9
大草	144	10	16
城東	103	8	14
矢作	69	11	11
合計	1,129	107	157

※世帯数は自治区から報告されたものであり
隣接した中学校区の一部を含む場合あり

自治区・地域活動への参加

出典：市民意識調査

※「よく参加している」「ときどき参加している」の合計

ＮＰＯ・ボランティア活動への参加

出典：市民意識調査

※「継続的に参加している」「ときどき参加している」の合計

ＮＰＯ・ボランティア活動の状況

健康	交流館自主グループ	5 団体	わくわく事業関連団体	4 団体	福祉	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
	スポーツ推進委員	5 名	ヘルスサポートリーダー	11 名		民生委員児童委員	12 名	お元気ですかﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	名
	高齢者クラブ	7 団体	その他団体	13 団体		ささえあいネット	73 団体	その他団体	団体
	活動例：【ヘルスサポートリーダー】地域イベントでの健康啓発事業を行っている 【健康づくりの会】小原地域内でのウォーキング活動を行っている 【城山元気会】高齢者のための脳トレーニング、筋力トレーニングを行っている					活動例：【訪問サポーター】サポーターが定期的に高齢者宅に訪問し、話し相手となっている 【織り姫クラブ】機織りを通じ、高齢者交流の場を創出している			
	ｺﾒﾝﾄ：地域住民が健康づくりを考えるきっかけづくりに繋がっている					ｺﾒﾝﾄ：見守り活動を通じて高齢者を地域で支える体制づくりが展開されている			
観光・産業	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	7 団体	伝統・文化	交流館自主グループ	12 団体	わくわく事業関連団体	団体
	その他団体	6 団体	－			その他団体	1 団体	－	
	－		－			－		－	
	活動例：【大洞町四季桜を守る会】大洞町の四季桜の管理を行っている 【オバラ＜あかりの華＞プロジェクト】軽トラあんどんパレードを開催している 【小原軽トラ市】小原産の野菜を販売している 【おばら米ブランド化研究会】小原産の「ミネアサヒ」のブランド化の研究を行っている 【おばらマルシェ実行委員会】マルシェを開催している					活動例：【小原ガイドボランティア】小原俳句会を実施している 【小原歌舞伎保存会】年２回の歌舞伎の定期公演や、歌舞伎体験会を開催している 【豊田小原和紙工芸会】展覧会、講習会の開催や、後継者育成を行っている 【2020年豊田国際紙フォーラム実行委員会】豊田小原和紙の世界に向けた情報発信や産業化の促進を行っている			
	ｺﾒﾝﾄ：地域資源を活かした事業実施であり、近年観光客も訪れるようになっている					ｺﾒﾝﾄ：大人のみならず、子どもも地域の伝統・文化に触れる機会となっており、郷土への愛着や誇りに繋がっている。			
環境・景観	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	7 団体	安全・安心	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
	その他団体	団体	－			自主防犯団体	8 団体	自主防災会	団体
	－		－			消防団	103 名	その他団体	団体
	活動例：【チャレンジ大平】環境整備やブルーベリー園の維持管理・収穫体験を行っている 【里山　和】矢作川周辺の環境整備を行っている					活動例：【小原地区防災ボランティア】作業ボランティアによる防災対策を行っている 【消防団】防災啓発や、有事の際には救助活動・捜索活動などを行っている 【交通指導員】児童、園児等の登下校における指導を行っている			
	ｺﾒﾝﾄ：定期的な活動により、不法投棄防止、景観整備、水害対策に繋がっている					ｺﾒﾝﾄ：減災に対する物理的備えの補助や啓発活動が地域住民により展開されている			
子どもの健全育成	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	2 団体	自治振興	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体
	主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	1 団体		その他団体	1 団体	－	
	その他団体	1 団体	－			－		－	
	活動例：【小原ソフトテニス連盟】小中学生を対象に、ソフトテニス教室を開催している 【ごろにゃあご】絵本の読み聞かせや、手遊び、パネルシアター等を行っている					活動例：【小原宴火】手筒花火の製作や実演を行っている 【小原を考える会】小原地域の問題点について議論している			
	ｺﾒﾝﾄ：子どもの健全育成や、母親同士の仲間づくりが進められている					ｺﾒﾝﾄ：地域活性化を目指し、どうすべきかという検討が地域住民の中で行われている			
その他1	【定住促進委員会】空き家情報バンク制度の周知や空き家情報の集約、地域・所有者等との調整を行っている 【ようこそおばら委員会】おばらの今を伝える情報誌「おばらのじかん」を定期的に発行している 【やはぎ里山婚活プロジェクト（わくわく事業）】人口減少、担い手不足の対策として、出会いの場を提供し、小原地区への定住促進を図っている				その他2	【　　】			
	ｺﾒﾝﾄ：空き家等の確保に向けたハード面と小原に目をむけるきっかけを作るソフト面の双方からの定住施策が展開されている。					ｺﾒﾝﾄ：			

■地域活動に対する地域住民の意識（自治力）

小原　豊田市　（単位：%）

A.住民参加型のまちづくりが進められていると思うか

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

B.地域会議が地域の意見を集約できていると思うか

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

C.わくわく事業へ参加したいと思うか

※「参加したい・している」「きっかけがあれば参加したい」の合計

D.わくわく事業の活動が地域のためになっていると思うか

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

E.地域予算提案事業の活動が地域のためになっていると思うか

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計（複数事業の平均値）

F.地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着の有無

※「持っている」「どちらかといえば持っている」の合計

小原　豊田市

採点基準

5 ・・・ 市平均の1.2倍以上
4 ・・・ 市平均の1.1倍以上～1.2倍未満
3 ・・・ 市平均の0.9倍以上～1.1倍未満
2 ・・・ 市平均の0.8倍以上～0.9倍未満
1 ・・・ 市平均の0.8倍未満

出展：地域自治システム評価アンケート

地域自治システム（地域会議・わくわく事業・地域予算提案事業）の運用状況

わくわく事業実績

出典：各支所保有データ（最新年度については当初交付決定状況）

事業分類	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
①保健、医療、福祉の推進	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興	2	3	3	3	2	2	2	2	5	3
③安心・安全な地域づくり							2	1	1	
④地域の生活環境改善、景観づくり　自然環境保全	13	8	8	6	8	5	2	3	2	5
⑤子どもの健全育成	3	1	2	1	1	1	1		1	2
⑥地域の特性を生かした産業振興									1	
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業										
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業	1	1						2		1
事業件数（件）	20	14	14	11	12	9	8	10	12	13
実績額（千円）	4,909	4,990	4,717	4,863	4,950	3,316	3,044	4,155	4,441	4,757

地域予算提案事業実績

出典：各支所保有データ（最新年度については当初予算）

事業名	事業分類	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
これでＯＫまるごと小原（小原ガイドブック）の作成	定住対策	320									
町名・名所案内標識版の設置	観光交流	4,678									
高齢者を地域で支える体制づくり	高齢福祉	1,223	1,397	1,439	1,224	1,202	1,188	1,170	1,149	275	360
コウゾ植栽による小原和紙ブランド化事業	農業振興		458	155	297	724	401	345			
地域で取り組む防災力向上事業	防災対策		4,144								
ゴミの不法投棄防止事業	環境対策			362	457	559	382	289			
観光ＰＲ推進事業	観光交流			1,199							
耕作放棄地整備支援事業	農業振興			568	529	627	862	835	415	299	895
定住促進サポート事業	定住対策				1	451	2	493	656	712	2,157
生活道路環境整備推進事業	交通安全			10,940	8,317	8,683	8,532	7,951	8,039	8,781	8,200
若者のＵターン促進事業	定住対策				1,202	1,487	1,332				
おばら米ブランド化チャレンジ事業	農業振興							329	362	408	
杉田久女顕彰事業	文化活動								754		
矢作川水源保全啓発事業	環境対策								16		
おばらマルシェ創出事業	観光交流								340	1,255	125
四季桜・紅葉の育成体制の構築	観光交流									3,289	6,547
実績額（千円）		6,221	5,999	14,663	12,027	13,733	12,699	11,412	11,731	15,019	18,284

地域自治システム認知度

出典：地域自治システム評価アンケート（地域支援課）

◎地域会議

◎地域の地域予算提案事業

◎地域のわくわく事業

地域まちづくりビジョン

おばらみらいプラン

前期計画：2014～2018年度

後期計画：2019～2023年度

小原　地域カルテ

2019 年　　12 月版

発行：　小原 地域会議・　　小原 支所

問合せ：　小原 支所　（　小原　地域会議事務局）

〔電話　　0565-65-2001　　〕

〔Ｅメール　obara-shisho@city.toyota.aichi.jp 〕